

令和7年度 特許情報普及活動功労者表彰

一般財団法人日本特許情報機構理事長賞 【特許情報活用研究功労者】

アジア特許情報研究会

中西 昌弘

功績

中西氏は1980年にオリンパス光学工業（現オリンパス）株式会社に入社され、2010年から2021年3月まで知的財産部門にて知財情報分析に従事されました。2011年からアジア特許情報研究会に所属され、2014年以降は、特許庁・独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）・世界知的所有権機関（WIPO）などでの講演や一般社団法人日本知的財産協会（JIPA）・民間各社主催の特許関連セミナー講師などを務められました。

中西氏は、ASEAN諸国、インド、中東、モンゴル、北朝鮮など情報取得が極めて困難な国・地域の知的財産情報を体系的に調査・分析し、日本の知財実務に新たな視座を提供してきました。

各国の公式データベースや商用DBを実地で検証し、その仕様・課題・注意点を詳細に整理するとともに、近年はChatGPT等のAI技術を活用した外国語特許調査の実証研究にも取り組み、難読言語特許の要約・検索・分析を実務レベルで可能にする手法を提示するなど知財情報の活用研究への多大な貢献をされました。

また、ASEAN・インドにおける特許・商標統計情報を継続的に収集・発信し、出願・登録動向、政策（Make in India等）、バックログ問題などを多角的に分析することで、企業の海外知財戦略やリスク判断に資する実用的知見を広く共有しました。これらの活動は単なる情報紹介にとどまらず、知財実務の本質的課題に対し、現場で使える具体的解決策を提示してきた点で大きな意義があります。

この度は、誠に荣誉ある特許情報普及活動功労者賞を賜り、心より御礼申し上げます。身に余る光栄であり、深く感謝申し上げます。本受賞は、これまで活動をご一緒してきたアジア特許情報研究会の皆様のご支援の賜物であり、厚く御礼申し上げます。

私がアジア特許情報の研究に着手した約十五年前は、ASEAN諸国の知財庁データベースの機能は十分とは言えず、特許動向の定量的把握が困難な状況にありました。そのような中、研究会新興国チームでは調査手法の検討や調査結果の公開に取り組んでまいりました。近年、ASEAN案件の商用特許データベースへの収録状況は改善しつつありますが、今後も引き続き調査研究を進め、特許情報の普及と活用に貢献していきたいと考えております。

